

笹子工場長も来阪してゐたので今晚交渉が不調に終つたといふ電報が因島から来た造船界が不況のドン底にある折柄、況して會社今日の營業状態から推して到底職工の要求を容れることの出来ないのは固まりのことである。會社としてはこの点について好く職工を諒解せしむる方法も講じ徒らに爭議を永引かせるのはお互に不利であると考へればこそ就業も勧誘したのだが不幸にして今日の結果を見た。工場の閉鎖も會社が好んでするのでなく、職工は就業せず仕事もないとなれを自然閉鎖の形となるので會社は別にこの際對策を講じやうなどは考へてゐない。全く自然の成行に任せねばならぬ仕事の方も爭議が始まつて以來適當の方法を講じ修繕船の如きもいつまでもその儘に打捨て、置いては船主に對して濟まない。ので櫻島工場にも廻しまた他會社にも廻したやうな始末で現在因島工場には僅か一艘の修繕船が船渠に入つてゐるばかりである云々。

四月二十一日 大阪毎日新聞記事

工場閉鎖を防ぐため爭議団との諒解成つて職長

等百世名出勤す

爭議を續けてゐる備後因島大坂鐵工所ニ工場の職長以下資格者百世名(事故派出約世名)は廿日午前七時工場に出た。これより先前夜職長等が出勤すること協定したと聞き、爭議団は大に憤慨し、爭議団各支部へ通知し我々は献身的に爭議を續けてゐるのに未解決の今日我々を棄て、出勤するは不都合だと盛んに難詰したが職長等は工場を閉鎖されては御互の行動を断たれ。一大事だから一應出勤し閉鎖を抑制し且會社の眞意を確かめねばならぬと述べ、爭議団との間に諒解を得たものや警察當局では萬一の衝突を慮り廿日朝出勤時刻には警官隊の總動員で警告した。十九日大坂より歸來した笹子工場長は出勤した資格者に對し諸君が今日出勤することになつたのは知らず、本社の重大使命を帯びて歸つたのであるが諸君の態度は國家のためにも